



Solaris OS パッチ

この章では、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチの Solaris OS パッチについて説明します。

Trace Normal Form (TNF) のサポート

Trace Normal Form (TNF) パッケージは、対象の環境で実行するアプリケーションの拡張デバッグ機能を備えた Solaris ツールスイートを提供します。TNF は、ユーザ レベルとカーネル レベルの両方でのプログラム実行トレースをサポートします。パッケージには、次のものが含まれます。

- SUNWtnfc: カーネルおよびアプリケーション内でプローブポイントをイネーブルにし、トレースファイル内で Trace Normal Format (TNF) レコードを生成できるようにするために必要なユーティリティ。
- SUNWtnfd: Trace Normal Format (TNF) 機能を使用する開発者に必要なユーティリティ。
- SUNWtnfx: カーネルおよびアプリケーション内でプローブポイントをイネーブルにし、トレースファイル内で Trace Normal Format (TNF) レコードを生成できるようにするために必要な 64 ビットユーティリティ。

XML ライブラリ

Sun VTS ソフトウェアは、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチ上の XML ライブラリを使用する必要があります。これらは、VTS パッケージを備えた Solaris ディストリビューションの補完的な部分となります。32 ビットおよび 64 ビットで使用できるこれらの XML ライブラリとツールを、次に示します。

- SUNWxmlS
- SUNWlxml
- SUNWlxmlx

デバイス GLM パッチ

109885-16 パッチは、Solaris OS 内の SCSI デバイス ドライバ GLM に関するいくつかの未解決のバグ レポートのバグを修正します。

セキュリティ CE パッチ

111883-24 パッチは、Sun GigaSwift Ethernet 1.0 ドライバ パッチを修正します。

セキュリティ Bad_Trap パッチ

117000-05 パッチは、累積した多数のカーネル レベルのバグ フィックスを単一のパッチに収めた新しい汎用カーネル パッチです。これは、旧汎用パッチ 108528-29 の代わりです。

Java SDK パッチ

アップグレード版の Java では、必要な機能をサポートするために、カーネルおよびシステム ライブラリにいくつかのパッチを追加する必要があります。該当するパッチを、次に一覧します。これらは、Sun Microsystems によって作成されている推奨パッチ群の中の関連するパッチです。

- 109147-30—SunOS 5.8 : リンカー パッチ
- 111308-05—SunOS 5.8 : /usr/lib/libmtmalloc.so.1 パッチ
- 112438-03—SunOS 5.8 : /kernel/drv/random パッチ
- 108434-17—SunOS 5.8 : C++ 用 32 ビット共有ライブラリ パッチ



(注) 108435-17 は、上記に対応する 64 ビット パッチ版です。

- 108435-17—SunOS 5.8 : C++ 用 64 ビット共有ライブラリ パッチ。注 : 108434-17 は、これに対応する 32 ビット パッチ版です。
- 111111-04—SunOS 5.8 : /usr/bin/nawk パッチ
- 108993-38—SunOS 5.8 : LDAP2 client、libc、libthread、および libnsl ライブラリ パッチ
- 109326-16—SunOS 5.8 : libresolv.so.2 および in.named パッチ
- 110615-13—SunOS 5.8 : sendmail パッチ